

2018(平成30)年度 ゴルフ場入場者数確定

ジュニア
育成不足?

ゴルフ場
減少?



8487万4869人で 前年度比0.77%減の微減

延べ利用者数は約8487万人で0.77%減、2年連続微減で推移

一般社団法人・日本ゴルフ場経営者協会（NGK、東京都千代田区、☎5577・4368）は、2018（平成30）年度におけるゴルフ場利用者状況を先ごろ発表した。NGKの利用者データは、ゴルフ場利用税の徴税データより集計していることから、ゴルフ場利用者としては18年3月から19年2月までの実績である。

それによると、全国47都道府県の18年度年間利用者は8487万4869人を数え、前年同期の8553万7608人に比べ66万2739人の減少、率にして0.77%の減少となった。これで3年連続減少を記録したが、減少率で見ると2年連続微減（17年度0.28%減、18年度0.77%減）で推移している。

ゴルフ場利用者数は、2010（平成22）年度に8809万人となっただけで、東日本大震災が発生した2011（平成23）年度を除き、最少となっている。

都道府県別の状況では、増加が

24都県、減少が23道府県。前年度（増加14道県、減少33都府県）とは違って、増加と減少が半々だった。

前年度に比べ増加したのは、熊本県（41ゴルフ場、前年度比1ゴルフ場増）の前年度比4.00%増を筆頭に、以下、島根県（8ゴルフ場、前年度と同）2.65%増、鹿児島県（28ゴルフ場、前年度と同）2.18%増、秋田県（17ゴルフ場、前年度と同）2.16%増、青森県（15ゴルフ場、前年度と同）1.95%増などと続いた。

熊本県は、2016（平成28）年に発生した熊本地震で同年度が126万7051人で前年度比16.02%の大幅減少となったが、17年度に144万8861人で14.35%増加、そして18年度に150万6857人で4.00%増加と続き、震災前の15年度実績（150万8814人）まで回復した。熊本県以外の増加した道県は、小幡な伸びとなっている。

一方の減少は、北海道（146ゴルフ場、前年度比2ゴルフ場減）の5.62%減をはじめ、以下、広島県（48ゴルフ場、前年度と同）5.02%減、大阪府（40ゴルフ場、

前年度と同) 4・20%減、岡山県(42ゴルフ場、前年度比3ゴルフ場減) 4・02%減、和歌山県(21ゴルフ場、前年度と同) 3・32%減、京都府(32ゴルフ場、前年度と同) 2・80%減、高知県(12ゴルフ場、前年度と同) 2・56%減などの順だった。

減少率の大きかった地域をみると、北海道が地震と全道停電、広島県や岡山県が西日本豪雨、大阪府が台風直撃と、いずれも自然災害に見舞われたことによるものだった。

四半期ごとの状況をみると、第2四半期(7〜9月)が西日本豪雨災害や台風によって47都道府県全てで前年実績を下回り、中国・四国地域では2桁の減少と落ち込んだ。第3四半期(10〜12月)が台風21号や地震等の影響で近畿圏で大きくマイナスとなった。第4四半期(1〜3月)が1〜2月に少雪で千葉県を除く46都道府県でプラスを記録したとしている。

ゴルフ場数は9コース減で、9年連続のマイナス。閉場の動きは今後も止まらない様相

ゴルフ場数は、「最近10年間の

ゴルフ場数データ」をみるとわかるように、2009(平成21)年度の2445コースを境に減少の一途を辿る。バブル崩壊後の長引く不況によるゴルフ場の売上低迷と入場者減少を理由に、ゴルフ場を閉場するケースが後を絶たず、11(平成23)年度の東日本大震災以降は太陽光発電(メガソーラー)への事業転用が一気に加速した。ここ2〜3年は売電価格の低下に伴ってメガソーラー事業に一時の勢いがなくなり、再び経営情勢の厳しさに耐えきれずゴルフ場経営会社が閉場を決めるケースが増えている。

ちなみに最近では、異常気象による自然災害でコースに被害を受けて、復旧するにも費用がかかるため、あえなく事業を断念するゴルフ場も増えてきており、ゴルフ場数の縮小傾向に一向歯止めがからない状況となっている。

18年度の全国ゴルフ場数は2248コースで、前年同期に比べると9コース少なくなつた。3年連続の減少だが、これまでに比べ減少数(16年度35コース減、17年度25コース減)は低くなつている。

なお、この2248コースには

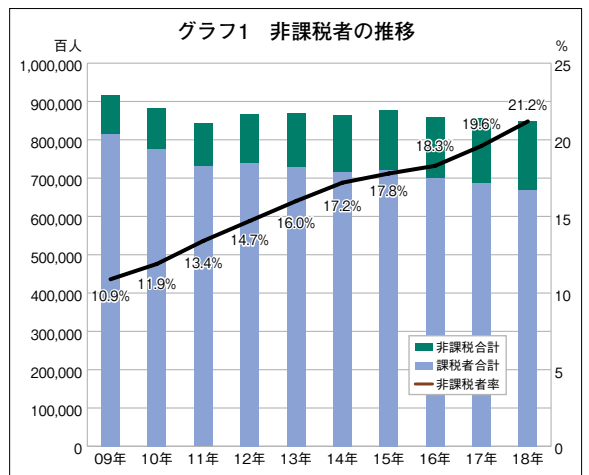
隣接都府県にまたがるゴルフ場(19コース)を含んでいることから、それを差し引いた2229コースが実際営業しているゴルフ場数となる。

ゴルフ場数がわかったことで、18年度の全国1ゴルフ場平均利用者数をみると3万7756人で、前年度比143人減少した。ゴルフ場数の減少とともに人数も減少しており、最近10年間の1ゴルフ場平均利用者の中で17年度3万7899人、15年度3万7874人に次ぐ人数だった。都道府県別では神奈川県4万9476人が最高で、4万人超は同県を含め大都市圏を中心に11都府県にのぼっている。

非課税者は人数約7%増。延べ入場者に占める比率21・23%、都道府県別トップの神奈川県は30・88%

次にゴルフ場利用税非課税者状況について。

延べ利用者数をゴルフ場利用税の課税者、非課税者に分けると、

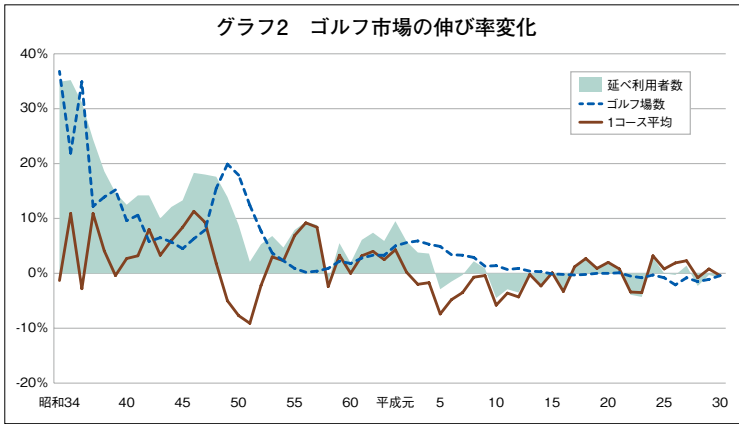


課税者数は6685万4657人、非課税者数は1802万212人。課税者は前年度に比べ2・77%減少したのに対し、非課税者は7・42%も増加している。

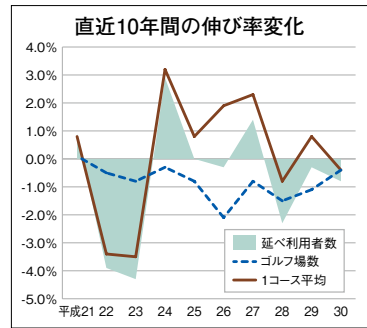
非課税者数は、2003(平成15)年にゴルフ場利用税非課税が適用され、04年度の前課税者数が前年度比27・7%増となつて以降14年連続で増加と依然増加傾向。18年度も西日本豪雨や地震があつたにもかかわらず、約7%の大きな伸びをみせている。

都道府県別の非課税者を見ると、

グラフ2 ゴルフ市場の伸び率変化



直近10年間の伸び率変化



最も人数が多かったのは千葉県の150万9604人(前年度比5・29%増)で、以下、兵庫県126万6469人(同6・05%増)、茨城県105万8926人(8・40%増)、栃木県95万1822人(9・40%増)、埼玉県93万1724人(6・47%増)、などと続き、上位はゴルフ場数が100コースを超える県で占めている。

少ない順では島根県4万6960人(17・19%増)をはじめ、以下、青森県4万9945人(13・41%増)、鳥取県5万7327人(11・55%増)、秋田県6万7684人(2・79%増)などと続いた。

非課税者数は47都道府県で前年度を上回っており、17年度に唯一マイナスだった富山県は非課税者数9万5110人で前年度比26・29%増と全国で最も高い伸び率となった。

延べ利用者(8487万4869人)に占める非課税者(1802万212人)の割合(非課税者率)をみると、18年度は21・23%で、前年度の19・61%に比べ1・62ポイント上昇した。

非課税者率の都道府県別をみると、神奈川県30・88%(前年度29・89%)、東京都29・81%(同28・75%)、愛知県26・16%(同24・29%)、大阪府25・90%(同24・45%)、長野県25・38%(同23・60%)など。大都市圏中心に2割を超え、神奈川県は3割に到達した。逆に非課税者率の低い順は、青森県15・13%(同13・60%)、沖縄県16・28%(同14・84%)、岩手県16・68%(同14・75%)、北海道17・63%(同15・95%)、宮城県17・89%(同16・08%)、などとなっており、大都市圏の非課税者率と比べるとまだ低いがそれでも年々上昇している。

18歳未満利用者が15年度より低減傾向。ジュニア育成の成果が結実しない原因の分析が必要

非課税者は、17年度に団塊世代(第一次ベビーブーム)が70歳に到達、70歳到達が全て完了する2020年以降数年後まで非課税者の存在が今よりも一層大きくなるのは確実。ただ将来的には団塊世代の大量リタイアが懸念されるため、このまま非課税者への依存が

過ぎると、ゴルフ業界は衰退しかねない。

将来のゴルフ界を考えた時、目の入場者にこだわるのではなく、「ゴルフ界全体が一体となって「ゴルフ普及」に取り組む体制を整えなければならぬ。例えば、多くのゴルフ団体やゴルフ関連産業等がジュニア育成に力を注いでいるが、NGKがまとめた非課税者のうち18歳未満の利用者をみると、2009(平成21)年度以降は、09年度31・1万人、10年度32・9万人、11年度33・8万人、12年度34・6万人、13年度34・3万人、14年度33・0万人、15年度32・9万人、16年度30・9万人、17年度29・3万人、18年度27・3万人と推移しており、18年度は前年度より2万人少なくなっている。

多くのゴルフ場や業界団体は「ジュニア育成」を活動目標にしているが、その成果については15年度をピークに低減傾向にあることから、NGKでは「原因の分析も必要」としている。

最近10年間のゴルフ場数データ

都道府県	2009 (H21) 年	2010 (H22) 年	2011 (H23) 年	2012 (H24) 年	2013 (H25) 年	2014 (H26) 年	2015 (H27) 年	2016 (H28) 年	2017 (H29) 年	2018 (H30) 年	2018- 2017	伸び率
北海道	173	167	163	160	157	151	151	143	148	146	▲ 2	-1.4%
青森	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	0	0.0%
岩手	25	26	26	25	24	24	24	23	23	23	0	0.0%
宮城	44	44	44	40	40	40	40	37	38	38	0	0.0%
秋田	21	21	21	20	19	18	18	17	17	17	0	0.0%
山形	17	17	14	17	17	17	16	16	16	16	0	0.0%
福島	63	62	54	57	56	53	51	48	43	42	▲ 1	-2.3%
茨城	127	127	126	126	123	118	118	117	116	114	▲ 2	-1.7%
栃木	140	140	139	139	135	133	132	127	125	123	▲ 2	-1.6%
群馬	86	86	86	86	85	82	81	76	73	74	1	1.4%
埼玉	87	86	86	86	86	85	85	85	85	85	0	0.0%
千葉	163	163	164	164	164	163	162	163	163	163	0	0.0%
東京	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	0	0.0%
神奈川	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	0	0.0%
新潟	47	47	47	46	45	45	45	45	44	44	0	0.0%
富山	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	0	0.0%
石川	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	0	0.0%
福井	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	0	0.0%
山梨	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	0	0.0%
長野	77	77	77	76	76	73	71	71	70	71	1	1.4%
岐阜	91	91	90	90	90	90	89	87	87	87	0	0.0%
静岡	97	96	96	95	96	95	95	94	94	94	0	0.0%
愛知	59	59	59	59	57	57	57	57	55	55	0	0.0%
三重	79	76	76	77	75	74	71	69	68	68	0	0.0%
滋賀	43	43	44	43	44	44	44	44	44	44	0	0.0%
京都	36	35	34	34	33	32	32	32	32	32	0	0.0%
大阪	42	42	42	42	41	40	40	40	40	40	0	0.0%
兵庫	166	167	167	167	167	168	168	166	165	163	▲ 2	-1.2%
奈良	35	35	36	36	36	36	36	36	36	36	0	0.0%
和歌山	24	24	24	24	24	22	21	21	21	21	0	0.0%
鳥取	16	16	16	16	16	14	14	13	12	12	0	0.0%
島根	11	11	11	11	11	10	9	9	8	8	0	0.0%
岡山	53	53	52	50	50	48	45	45	45	42	▲ 3	-6.7%
広島	51	51	51	51	51	50	49	48	48	48	0	0.0%
山口	40	40	40	40	40	38	38	38	35	35	0	0.0%
徳島	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	0	0.0%
香川	22	22	21	21	21	20	20	20	19	19	0	0.0%
愛媛	25	23	23	23	22	22	22	22	21	21	0	0.0%
高知	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12	0	0.0%
福岡	59	59	59	59	59	58	58	58	58	58	0	0.0%
佐賀	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	0	0.0%
長崎	25	25	25	25	25	23	23	23	23	23	0	0.0%
熊本	43	43	43	43	43	42	42	42	40	41	1	2.5%
大分	26	26	26	26	26	25	24	25	25	25	0	0.0%
宮崎	30	30	30	30	30	29	29	29	27	27	0	0.0%
鹿児島	33	33	33	33	33	30	30	29	28	28	0	0.0%
沖縄	33	33	33	33	33	33	33	34	32	32	0	0.0%
合計	2,445	2,432	2,413	2,405	2,385	2,336	2,317	2,282	2,257	2,248	▲ 9	-0.4%

北海道	173	167	163	160	157	151	151	143	148	146	▲ 2	-1.4%
東北	186	186	175	175	172	168	164	156	152	151	▲ 1	-0.7%
関東	677	676	675	675	667	655	652	642	636	633	▲ 3	-0.5%
新潟・北陸	101	101	101	100	99	99	99	98	97	97	0	0.0%
中部・甲信	444	440	439	438	435	430	424	419	415	416	1	0.2%
関西	346	346	347	346	345	342	341	339	338	336	▲ 2	-0.6%
中国	171	171	170	168	168	160	155	153	148	145	▲ 3	-2.0%
四国	74	72	70	70	69	67	68	68	66	66	0	0.0%
九州・沖縄	273	273	273	273	273	264	263	264	257	258	1	0.4%

